

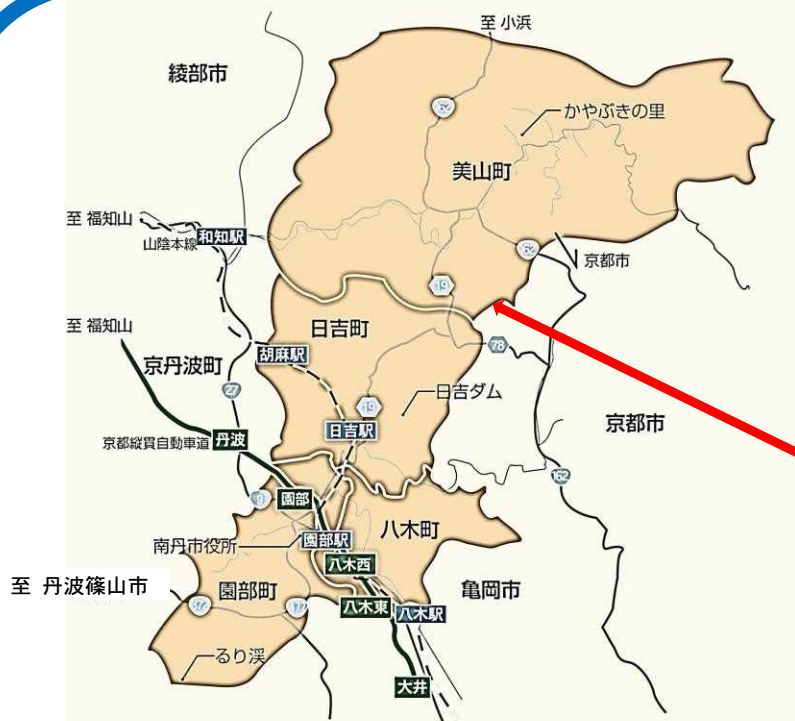
集落活性化の 歩みと未来

「私たちのむらづくり実践のおはなし」
集落活性化の取り組み 事例集

Ⅱ

南丹市地域振興課・集落支援員室

南丹市マップ



■ 園部町



■ 日吉町



■ 八木町



■ 美山町



南丹市各町の現状 (人口集計は令和6年2月1日時点の住民記録人口集計です。実態と違うケースがあります。)

各町	人口	高齢化率	集落数	限界集落	準限界集落
園部町	15,308	28.4%	46	10	25
八木町	6,610	40.9%	45	9	26
日吉町	4,328	44.1%	37	16	16
美山町	3,277	48.2%	57	30	24
南丹市	29,523	40.4%	185	65	91

集落活性化の歩みと未来

CONTENTS

私たちのむらづくり実践のおはなし

園部町

口人区	3	宍人区	8
天引区	4	埴生区	9
千妻区	5	宮町区	10
竹井区	6	大河内区	11
法京区	7	西本梅地域振興会	12

八木町

西田塾	13	新庄郷育館	17
日置区	14	吉富ノ庄	18
神吉和田区	15	刑部ふれあいサロン	19
神吉下区	16	南地区大堰塾	20

日吉町

東胡麻区	21	世木地域振興会	27
上胡麻区	22	後野区	28
佐々江区	23	生畑区	29
新シ区	24	興風区	30
殿田区	25	住みよいむらづくり協議会	31
殿田の歴史を考える会	26	世木の伝統芸能を守る会	32

美山町

音海区	33	檜原区	47
上平屋区	34	下区	48
河内谷区	35	知見区	49
下平屋区	36	向山区	50
岩江戸区	37	熊壁区	51
洞区	38	殿区	52
林区	39	神谷区	53
松尾区	40	舟津区	54
下吉田区	41	今宮区	55
栃原区	42	長谷区	56
江和区	43	佐々里区	57
芦生区	44	島区	58
北区	45	内久保区	59
和泉区	46	NPO法人 京都桑田村	60

園部町 口人区

<事業年度 平成25年～29年 南丹市ふるさとの誇りと絆事業>、他

集落データ

- ◇世帯数 48世帯
- ◇人口 91名
- ◇高齢化率 59.3%
- ◇限界集落

園部駅から車で6～7分。トンネルの開通で便利になった、半田川沿いの田園地帯にある集落です。園部町エリアでは一番早く、平成25年度から誇りと絆事業の取組みをスタート。メイン事業の「くちうどの郷野菜市」(毎月第1、第3日曜日、10～12時開催)は、しっかり地域に根付き、令和5年7月で、開業10周年を迎えました。平成30年度には、地域の歴史や名所、住民団体の活動を纏めた冊子、「口人今昔」を制作し、ふるさとの魅力の再発見にも努めてきました。コロナ禍で休止していた鯉のぼり掲揚も、令和5年に再開。南丹市内外から寄贈されたたくさんの鯉のぼりが大空を泳ぎ、注目を浴びました。

くちうどの郷野菜市

開業10周年記念イベント



野菜市は、月2回、第1、3日曜日10～12時に開催。固定のファンも増え、開店前から多くのお客さまが待っておられます。

くちうどの郷 野菜市
おかげさまで10周年！
2023年7月16日(日)
午前9時～13時頃
※雨天の場合は、7月23日(日)に延期

◆新鮮野菜の販売
◆1コイン(500円)で夏野菜の詰め放題

◆子ども大歓迎！
◆和太鼓ステージ
◆ミニ鉄道(無料)
◆お菓子の盛り放題(1カップ無料)

◆お楽しみ抽選会
先着50名様限定
何が当たるかは
お楽しみ！

お問い合わせ先(0771-62-2201)園部



1コイン(500円)で、夏野菜詰め放題は、大人気でした。

鯉のぼりの掲揚

口人今昔の制作



GW中には、集落内外から寄贈されたたくさんの鯉のぼりが泳ぐのが、季節の風物詩でした。コロナ禍で中断していましたが、令和5年に久しぶりに再開。



口人の歴史・名所一冊に

「自然の美しさ気付いた」

「口人今昔」

「ふるさとの美しさを伝える」

口人の歴史と名所をまとめた、口人今昔も制作。

園部町 天引区

<事業年度 平成25年～平成29年 南丹市ふるさとの誇りと絆事業>、他

集落データ

- ◇世帯数 68世帯
- ◇人口 146名
- ◇高齢化率 49.3%
- ◇準限界集落

南丹市の西端、兵庫県丹波篠山市と隣接している山間の集落。少子化、高齢化が進み、このままでは村が無くなってしまおうという危機感から、平成24年に「天引区の活性化と未来を考える会」を結成し、様々な取組みにチャレンジ。平成25年に始めた「ほたるコンサート」は、700名も集める規模にまで成長(コロナ禍で3年間中止していたが、令和5年に再開)。平成28年1月にオープンした「むくむく市」は月2回開催し、地元の野菜、お米、加工品などを販売するほか、屋台も出店。集落内外から多くの人が集う、貴重な交流の場になっています。近年は、空家対策や、生活の足の確保について検討するプロジェクトチームも立ち上げ、集落の存続を真剣に模索しています。こうした10年間の活動に対し、令和4年度の「あしたのまち・くらしづくり活動賞」の内閣総理大臣賞や、国土交通省主催の「手づくり郷土賞(一般部門)」を受賞。

内閣総理大臣賞受賞記念集合写真



石積み水路の補修作業



村の中を、今となっては貴重な石積みの水路が流れています。この石積み技術を継承する為に、令和3年度から、ベテランの方々の指導のもと、この石積み水路の補修事業をスタートさせました。



天引むくむく市

天引むくむく市(野菜市)は、原則第2、4日曜日、9時半～12時に開催。新鮮な地元野菜やお米、加工品などを販売しています。併設のうどん、たこ焼き、カフェなどの屋台も大人気です。

薬師堂



天引のシンボルと言える薬師堂。6月の蛍コンサート、8月の松明上げ、そして大晦日の年3回ライトアップ。

天引で大切にしている会議の4原則

- 自由に発言する
- 人の発言をけなさない
- 「今まではこうだった」という前例に囚われない
- すぐに実現できなくても夢を語る

天引散策マップ



令和2年度には、皆で何度も意見を出し合っ、集落内の見所を紹介する散策マップを制作。

空家の片付け



空家対策プロジェクトでは、空家の持主を探して空家バンク登録を勧めたり、片付けを手伝ったり、移住者を迎えるために様々な活動を行っています。

買い物支援サービス&便利屋さん



令和2年9月から、月1回買い物支援サービスを実施。また、有志グループで、「天引便利屋さん」を結成。草刈りや大工仕事、庭木の剪定など、集落の細かいニーズに対応されています。



集落データ

- ◇世帯数 24世帯
- ◇人口 48名
- ◇高齢化率 60.4%
- ◇限界集落



湖池屋の工場の南側に位置する小さな集落。JR船岡駅から徒歩15分。近くには、道の駅「新光悦村」もあります。平成26年度より裏山の子供広場の整備に着手。広場にたどり着く階段を作り、見晴らしを良くするために雑木の伐採等を行いました。遊休地を活用し、黒豆や花なども栽培。また京都市内の野球やバスケットチームの子供たちを中心に、田植えと稲刈り体験を実施し、都市住民との交流活動も継続的に開催しています。毎年11月には集落総出で、集落内を通る道路のあぜに菜の花の苗を定植。3月には見事な「千妻・菜の花ロード」が出現します。令和元年度からは新たにノルディックウォーキングにも取組み始めました。

田植え&稲刈り体験



父兄も含め、毎回70名以上の参加者。子供達はみな泥だらけになりますが、とても楽しそうです。



子供広場の整備（階段作り）



ノルディックウォーキング



朝倉神社の大杉



幹回り約10mの御神木。昭和58年に京都府指定文化財(天然記念物)に指定。

菜の花の植栽



毎年11月に、朝から集落総出で、道沿いに菜の花を植えます。作業終了後は収穫祭も開催します。



園部町 竹井区

＜事業年度 平成30年～令和3年 南丹市集落支援事業＞、他

集落データ

- ◇世帯数 135世帯
- ◇人口 313名
- ◇高齢化率 49.2%
- ◇準限界集落

府道54号線沿いに位置し、園部川に沿って広がる集落。胎金寺山の麓にある摩氣神社は、延喜式にも登場する由緒ある神社で、この地域全体のシンボルです。竹井区は、買い物の足の確保を目指し無料送迎車の試験運行を行ったり、営農組合を立ち上げ黒豆を栽培するなど、「住んでよかった竹井区に」を合言葉に、積極的に村づくりに取り組んできました。平成30年度からは集落支援事業を活用し、特産品の開発やホテルの夕べコンサートの開催のほか、見所をまとめた竹井十景マップを制作したり、摩氣神社や境内に鎮座する狛犬に関する勉強会も開催し、地域への愛着を深めてきました。

摩氣神社



摩氣神社は由緒ある神社で、竹井集落を含む近在の氏神として、「摩氣郷十一ヶ村の総鎮守」と称されてきた。

摩氣神社の狛犬



摩氣神社の狛犬は、江戸時代末期、孝明天皇から「日本一」と称された石工、丹波佐吉が製作。

摩氣神社秋の例大祭



摩氣神社の秋の例大祭は、十月の第2土日の二日間に渡って行われます。

摩氣神社十景マップ看板



令和4年2月に設置した摩氣神社十景の案内看板。

竹井十景マップ



区民アンケートを基に作成した、竹井十景マップ。

摩氣神社勉強会



令和5年8月に開催された勉強会、「摩氣神社参拝を10倍ゆかしく」の様子。



園部町 法京区

＜事業年度 令和元年～令和4年 南丹市集落支援事業＞

集落データ

- ◇世帯数 10世帯
- ◇人口 22名
- ◇高齢化率 50.0%
- ◇限界集落

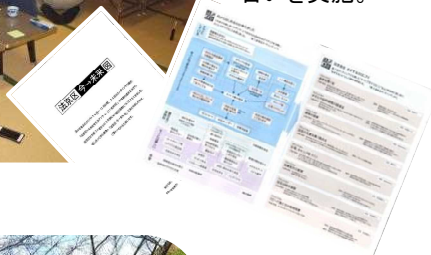
国道372号線から、るり溪自然公園に向かう府道54号線沿いに位置する小さな山間の集落。法京（ほうきょう）と云う美しい名前は、平安時代にこの地を訪れられた花山天皇が、素晴らしい自然美に感激され、寺を建立。以後ここを法の都、「法京（ほうきょう）」と名付けよと言われたのが始まりだと伝わっています。

少子化、高齢化が進み、園部エリアでは一番初めに限界集落に。そんな状況に危機感を持ち、令和元年度から集落支援事業に取り組むことに。ワークショップを積み重ね、地域再生計画を策定。その計画に基づいて、集落内の危険な木を協働作業で伐採し薪として販売したり、地域の希少生物を確認するための自然調査などを行ってきました。

地域再生計画策定のワークショップ



令和元年度は、毎月第1土曜日に集まって、地域資源の洗い出しや、集落の困りごとについて話し合いを実施。



法京集落の風景



集落内を貫く府道54号線。

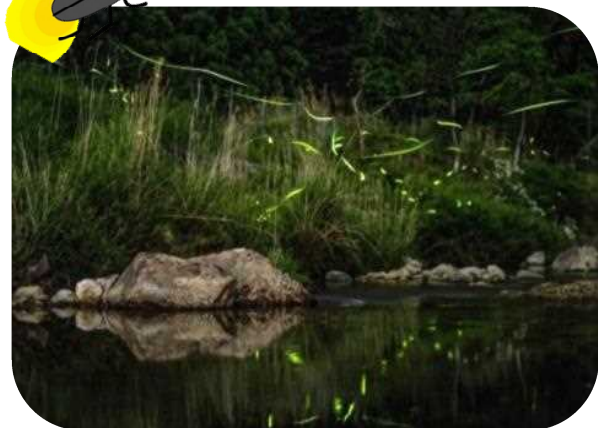
月1回の共同作業の様子



毎月第2日曜日に集まって、集落内の藪をキレイにしたり、大きくなり過ぎた木を伐採。伐採した木は薪にして販売。



ホタル



集落内を流れる園部川は、ホタルの名所。餌となるカワニナを放流するなど、その保護活動も実施。

自然調査の様子



3年間自然調査を行い、希少生物の生息も確認。

園部町 穴人区

＜事業年度 令和2年～ 南丹市集落支援事業＞

集落データ

- ◇世帯数 72世帯
- ◇人口 160名
- ◇高齢化率 57.5%
- ◇限界集落

市の中心地に近いにも関わらず、里山のほっこりした雰囲気も残る自然豊かな集落。町村合併前の旧摩気村時代には村役場もあり、地域の中心地で経済面でも栄えていました。近年、少子化、高齢化が進み人口が激減、また集落内にあった摩気小学校が、平成27年3月で閉校。子どもたちの声も聞こえなくなりました。そんな状況を少しでも良くするため、令和2年度より、集落支援事業に組み、「区のしくみ改善取組」「元気で長生き活動」「歴史・自然保存活動」の3つに取組んでいます。



地域のシンボル、高山

光秀の時代と、江戸時代が共存する 穴人城跡

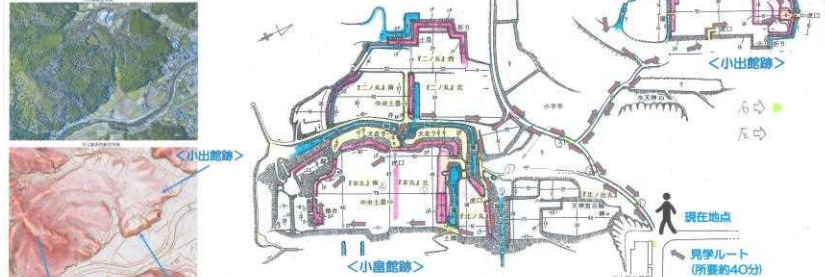
＜穴人城跡の説明＞

穴人城跡は、穴人公民館裏手の丘(比高25m)南側に有る「小島館跡」と北側に有る「小出館跡」、そしてその丘の裏手の山(比高175m)に有る「小島氏の山城跡」の三遺構で構成される。丹波の國人領主として代々続いた小島氏は、明智光秀の丹波攻めの際に率先して活躍したと記録され、この城跡は戦国末期に小島謙守正明によって作られたとされる。そして江戸時代初期、豊臣重初代藩主小出吉頼は元和五年(1619)に出石から園部に転封された際、小島正明を頼って小出原館を建て二年間この地に逗留した。この様な経過から穴人城跡は、戦国末期の比較的戦略性の高い「小島館跡」と、江戸時代初期の戦略性の低い「小出館跡」が、再開発されることなく共存して残る、日本でも貴重な遺跡である。

＜見学時のルール＞

- ・禁煙(山林火災は広がって、麓火出来ない事があります。)
- ・ゴミは各人で持ち帰って下さい。
- ・ルート表示内で見学して下さい。
- ・駐車が3台以上必要時は、旧摩気小学校に駐車して下さい。
- ・近くの駐車場希望者はEメールで予約: koba276489@yahoo.co.jp

＜見学ルート＞



※ この城跡(館跡)は個人の所有地につき、上記見学ルートをお歩いて下さい。

穴人城跡見学会



令和4年2月に開催された穴人城跡(小島館跡・小出館跡)見学会には、区民を中心に45名が参加。



案内看板の設置



大河ドラマの効果で、穴人城跡(小島館跡、小出館跡)を訪れる人が大幅に増加。登り口に案内看板とパンフレットを用意し、そういったお城ファンを迎えています。

フレイル予防教室



元気で長生き活動の一環で、フレイル予防教室も開催。

グランドゴルフ大会



呼び掛けにより、初めてグランドゴルフをする方が多数参加されました。まずは、ルールと道具の使い方教室からスタート。

話合いの様子



公募委員による会議が月1回開催され、区のしくみ改善など様々な課題について話合われた。

園部町 埴生区

＜事業年度 令和3年～ 南丹市集落支援事業＞、他

集落データ

- ◇世帯数 114世帯
- ◇人口 256名
- ◇高齢化率 43.0%
- ◇準限界集落

国道372号線沿いに広がる、旧西本梅小学校区の中では最も人口が多い集落。篠山街道（古代山陰道）の宿場町として栄え、国道に併走する旧道に入ると、今も当時の面影が残ります。令和元年度から、地元の有志グループによる「埴生城址復活プロジェクト」がスタート。また、令和3年からは、集落支援事業を活用して、多くの方に山に関心を持って貰えるよう、トレッキングルートの整備や学習会、そして散策マップづくりなどに取組んでいます。

旧街道の町並み



埴生は古い宿場町で、趣のある家並みが続いています。集落の入り口には、旅人が早起きや、ゆっくり眠ることを願った「おきた地蔵ねむた地蔵」が鎮座しています。

トレッキングルート整備



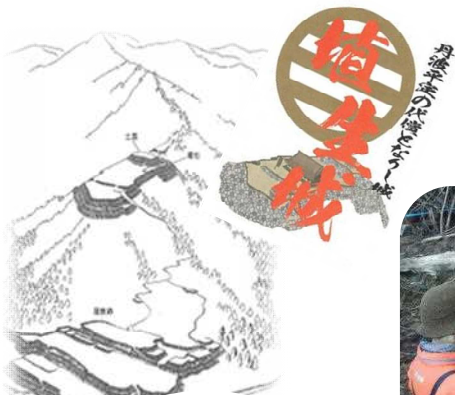
山に人を呼び込むために、トレッキングルートの整備を進めています。

埴生やまびこ便り



集落支援事業の取組み状況を集落内で共有する手段として、埴生やまびこ便りを発行。、

埴生城址復活プロジェクト



令和元年より、有志グループにより、埴生城址の整備を進め、今では多くの方が、登られるようになりました。



森林学習会



講師の先生の案内で、鹿やイノシシの痕跡や糞、食害の様子を観察。こうした学習会を通じて、多くの人に山に興味を持って貰うことを目的にしています。

園部町 宮町区

＜事業年度 令和5年～ 南丹市集落支援事業＞

集落データ

- ◇世帯数 77世帯
- ◇人口 141名
- ◇高齢化率 49.6%
- ◇準限界集落

宮町区は、市役所前の大通り「シンボルロード(そのべお城通り)」沿いに広がり、園部町の中心部に位置しています。区内に園部文化観光協会やハローワークがあるほか。隣接する地域には公共施設や商店が集まっています。とても便利なところですが、しかしながら、道路開発や人口の減少により、近年は少し元気を失っている印象も。そんな宮町を何とかしようと、令和5年度から集落支援事業に取り組むことになりました。現在、区の将来像と、その実現に向けてどんな活動をするのかについて話し合いを進め、計画を作っているところです。

宮町の真ん中を貫くシンボルロード(そのべお城通り)



宮町タウンミーティングの様子

地域資源や課題を洗い出し、将来どんな宮町にしたいか、またそのために、どんな活動をしていくのかについて、計画を立てる予定です。

会議のルール	
すぐに実現できなくても夢を語る	他人の揚げ足を取らない
やることを他人に押し付けない	来るもの拒まず、去るもの追わず

園部文化観光協会



ハローワーク



府立るい溪自然公園



集落データ	
◇世帯数	87世帯
◇人口	144名
◇高齢化率	53.5%
◇限界集落	



園部町の南西部に位置する大河内区は、標高350mの山あいにある山里。集落内に府立るい溪自然公園があり、昔は観光地として大いに賑わい、いくつもの料理旅館が営業されていました。現在はやはり高齢化が進み、準限界集落となりました。少しでも昔の賑わいを取り戻し、元気な村にするため、旧園部町エリアで初めてモデルフォレスト事業に取組んだり、集落内散策（農村を楽しむ）や、つるし柿づくり体験などにも取組んできました。集落の後ろには、村のシンボルとも言える天狗岩（掃雲峰）があり、登山コースとして人気があります。また、この岩に生えている「天狗岩のヒノキ」は、京都府から「天上の木10選」に認定されました。この天狗岩（掃雲峰）への登山コースは、るい溪観光協会を中心に整備を行っています。

つるし柿づくり体験



農村を楽しむ



モデルフォレスト事業



交流人口を増やすため、以前から集落内散策と農業体験に取組んできました。

大河内生産森林組合は、高砂熱学工業㈱と協力して、マツタケ山の再生を目指しています。

天狗岩のヒノキ



天狗岩(掃雲峰)登山



大河内区のシンボル天狗岩には、岩の間からヒノキが生えており、「天狗岩のヒノキ」と呼ばれています。その生命力には、多くの人を惹きつけるパワーがあり、平成28年には京都府から「天上の木10選」に選ばれました。

集落データ

◇世帯数 432世帯
◇人口 971名

西本梅地域振興会は、廃校になった小学校区を対象とする地域団体で、学校の統廃合と跡地活用をきっかけに、平成29年8月22日に設立。現在は、西本梅地域活性化センター(愛称:あかまつの丘西本梅)の指定管理者として施設の管理運営と、地域を元気にする活動に取り組んでいます。「振興会便り」や「あかまつの丘通信」の発行、セルフカフェの運営、飲食店を誘致するなど地域の交流拠点となっているほか、地元の歴史資源を訪ねる「西本梅を歩く会」や「西本梅の農林業を考える会」を主催したり、地域のママ友達を中心に結成された実行委員会に協賛して「るり色マルシェ」を開催するなど、様々なチャレンジを行っています。

るり色マルシェの様子



るり色マルシェは、小学校跡を使って定期的に開催されています。のんびりした雰囲気が人気！

スティックコーヒーやティーパックを用意したセルフカフェは、ここを人が気軽に集える場所に変えました。

セルフカフェ



振興会便りとあかまつの丘通信



この2つの通信は、地域内外への重要な情報発信ツール。

各種イベントチラシ



地域を盛上げるため、様々なイベントを開催。

ランチルームを飲食店に



現在、ランチルームを活用して、(原則)土曜日にお蕎麦屋さんが営業。人気です。

夏休み自然観察会



夏休みには、自然観察会を開催。子供たちに大人気のイベントです。

第6回深山サミットの様子



府県境を超えて隣接する、福住まちづくり協議会(兵庫県)、天王区(大阪府)と持ち回り、年1回サミット(情報交換会)を開催。

令和4年度から南丹市集落支援事業に取り組んでいます。

西田集落は、八木町の最南端に位置し一部亀岡市と隣接する集落で、約400人が共に住まいされ、65歳以上の高齢者が160人を超え高齢化が着実に進み、各種団体の役員のなり手不足や区民同士のつながりも少なく、希薄化の進行が懸念される状況になってきています。この中で有志によって「西田塾」を結成され、「男の料理教室」の開催、地域文化の継承の取り組みや区民交流ふれあいの場を提供されてきました。そして昨年度からは南丹市集落支援事業に取り込まれる事になりました。しかし、コロナ禍の不安の中での事業の推進は難しい中、西田の看板の設置を進めています。

集落データ

◆人口	409名
◆世帯数	171世帯
◆高齢化率	41.1%

住吉神社(京都府指定文化財)



西田集落看板予定



「つながり」と「支えあい」の地域づくりを!



「男の料理教室」
高齢男性が懸命に、
そして真剣に、調理
する姿はほほえまし
い!



京都新聞記事

独居の高齢者男性を中心に声を掛け料理教室を開催、日常生活と今後の豊かな生活に活かす。

完成!



子育て家庭の交流の場づくり (子育て家族ふれあいクッキング)

子育て家族のみんなが一緒に交流する機会を提供し、つながりを深める。

令和5年度から南丹市集落支援事業に取り組んでいます。

集落データ

- ◆人口 137名
- ◆世帯数 71世帯
- ◆高齢化率 55.5%



日置区は亀岡盆地の北端に位置しています。その為か、盆地全体に時間を告げていたことから「日置」と言われてもいます。日本各地にある「日置」の地名は古代、太陽神の祭祀をもって大和政権に奉仕をしていた「日置部(ひきべ)集団の居住地であったからとも言われています。ともあれ、集落全体が南向きで陽当たりには恵まれています。集落は山裾に広がり、全面が田畑になっています。田畑は約40町歩です。水源は3つのため池と新庄用水からも供給を受けています。先人は水には大変苦労しました。

曹洞宗
亀峰山護国寺



大送神社
安部貞任の
脚が祀られています。



日置区には江戸時代から続いている二つのお祭りが住民によって行われています。一つは秋の収穫を感謝する意味もある、隣村の氷所と合同で行われている「夫婦行事」です。もう一つは新年に行われる京都府の無形文化財にも指定されている「綱引き神事」です。

村を荒らす大蛇を退治すること、綱引きによって今年の豊作を占うこととされています。嵯峨野線のラッピング電車には京都府の森のDMOによって別添のつり広告がされています。

ラッピング電車の吊り広告と綱引き



2024/1/15京都新聞
丹波版



八木町「神吉和田区」 <事業年度 令和5年度～ >

令和5度から南丹市集落支援事業に取り組んでいます。

集落データ	
◆人口	53名
◆世帯数	20世帯
◆高齢化率	37.7%

和田区へは、国道477号ができるまで山陰線八木駅からは渋坂峠が主要な街道でした。また、5世紀後半に造られた塚本古墳や、新庄跡など遺跡も多い地域です。

日吉町生畑×八木町和田交流会を行いました



区民には「神吉和田だより」で活動をお知らせしています。



京都商業会議所の初代会長の高木文平が区長と記載された和田区境界地図。 明治初期作成

南丹市出身の陸軍大将二人のうち一人、後宮大将の出身の地です。碑があります。

花園大学名誉教授を招いて勉強会を開催しました。



八木町「神吉下区」

<事業年度 令和5年度~ >

令和5年度から南丹市集落支援事業に取り組んでいます。

集落データ

◆人口	109名
◆世帯数	55世帯
◆高齢化率	51.4%

神吉下区は海拔333mと標高が高く、昼夜の寒暖差によって美味しい農作物が収穫されています。特に水菜は有名です。

下区遠望



阿祇園寺の銀杏

旧自治振興会館



令和5年 神吉運動会



廻り田池



廻り田池の軍艦島



湯水の廻り池



初代京都商工会議所の会頭、琵琶湖疏水の建設に尽力、京都電気鉄道会社を立ち上げ、京都駅から伏見までちんちん電車開通させた下区出身の高木文平氏の肖像画、ちんちん電車、ため池の写真が下区の公民館に掲げられています。

高木家と顕彰碑



下区会議所内に掲げられている、肖像画、ちんちん電車、池



八木町「新庄郷育館」

集落データ

◆人口	817名
◆世帯数	377世帯
◆高齢化率	48.1%

昨年、漫画本が作成された井上堰水先生によってつくられた新庄小学校は、平成27年3月、地域とともに歩み続けてきたその歴史に幕を閉じ、「新庄郷育館」（南丹市新庄地域活性化センター）として生まれ変わりました。新庄郷育館は八木町の野条、山室、諸畑、池上、室橋、船枝区から構成される新庄地域振興会が管理運営を行っています。

同館は、地域活性の拠点施設で、「人づくりと居場所づくりが郷づくりになること」を基本コンセプトとし開館しました。「人を育み」「自然を育み」「安心な暮らしを育み」、子ども・若者・中高年齢者・男女を問わず安心、安全な、人の温かみがわかる、活気あふれる地域づくりを実現することを目指しています。教室や体育館、運動場などが利用可能で、教室は日ごとの予約だけでなく、一定期間を専有することが可能になっており、現在もいくつかの市民団体等が利用されています。



新庄郷育館の隣の田んぼにはコウノトリも飛来しています。

「収穫祭」「かやの杜市」、子どもたち向け「サマーキャンプ」、「サロン」などのイベントを年間を通じて行なっています。地域にある豊かな自然と、人々とのつながりを大切にしたイベントを通じて新庄という場所を知り、地域の人たちを知ることができます。今年の夏には初企画「新庄夏まつり」を開催しました。地域で育つ子どもたちに、地域ならではの温かみのあるお祭りを体感してもらえました。

「新庄夏まつり」



新庄郷育館は、将来を見据え少しずつ動き出そうとしていくところです。これからもさらに地域内外の人たちで手を取り合い、共に大切な環境を守っていくために、新庄に住んでいる人、関わってくださっている人、これから住む人、周囲のみなさん、たくさんの人たちの手をお借りし、大切な地域を維持していくために運営を頑張っています。

「収穫祭」



八木町「吉富ノ庄」



桂川、園部川合流地点



集落データ

- ◆人口 1165名
- ◆世帯数 618世帯
- ◆高齢化率 41.8%

荒井神社



西光寺



春日神社



旧吉富小学校が「吉富ノ庄」の愛称で、吉富地域活性化センターとして地域活動の拠点となっています。

JR吉富駅からは徒歩で15分、京都縦貫道八木西ICから車で5分と交通の便に恵まれています。また、江戸時代に山陰街道の鳥羽宿があり、水運では桂川と園部川の合流地点で園部藩の蔵屋敷もありました。

文化財も多く、京都府指定文化財の荒井神社、西光寺、春日神社もあり、古くから恵まれていた地域だったと思われます。

そして現在、吉富の庄への入居は順調でIT会社から鍼灸まで12社の会社が入居しています。また毎年、「吉富の庄まつり」も開催され、多くの地域の子供達も参加され大いに盛り上ります。

テナント情報



吉富ノ庄まつりの様子



古物展示コーナー



吹奏楽団 吉祥院ザウルスの練習拠点です。



八木町「刑部ふれあいサロン」 <京都府地域外ファン 事業年度 令和5年度～>

集落データ	
◆人口	97名
◆世帯数	51 世帯
◆高齢化率	52.6%

刑部区は平安時代の絵図に刑部郷として記されており、歴史のある集落です。

刑部区では「刑部ふれあいサロン」を地元有志を中心に活動をしています。

刑部ふれあいサロン」は月1回の例会を行っており、6月には隣の「池上ウオーキング」として谷牧場、メグミルクを訪れました。谷牧場では乳牛を飼育しており、ドイツ製の自動搾乳機が稼働しています。隣の雪印メグミルク池上製造所を見学、高度の衛生環境、最新鋭のオートメ工場です。

刑部ふれあいサロン収穫祭

従来から交流のあった京都大学工学部大学院のゼミ教室と交流に取り組み、今年は第一歩として、さつまいもやゆずの収穫体験もでしたが、メインは日頃、大学院で研究されている**地下探査実験**として「宝探し」を行いました。そして見事10銭玉などの小銭を掘り当てることができました。



11月4日(土) 13:30~16:00
会場: 京都みらい農園
主催: 刑部ふれあいサロン
お問い合わせ: 090-3896-2356

収穫祭での京大生と地元、SKYシニア大学



刑部ふれあいサロン6月例会



7月の刑部ふれあいサロン
7月23日(日)13:30~
みんなで公式録音を楽しみましょう!
ワケ字名人に聞いてやってみたい! 勝手に聞いても可也。見学だけでも OK
夏休みの子どもや中学生が来たらどうぞ。
準備の都合上7月15日までに申し込みをお願しいします。
7月23日(日)08:00~ 声田宅裏の農園に来ていただける方は! 時間はと作業お願
しいたいです~(見学だけでもOK)!

5月はグランドゴルフを楽しんだ後、ふれあいセンターで清田集落支援員さんによる肉挽の歴史紙芝居を鑑賞、懇談。グリーンカーテン用のゴーヤ苗、土、プランターをご希望の前さんに配布しました。
6月は谷牧場と雪印メグミルク池上工場見学ウォーキング、どらもちづくり丁寧に説明していただき見学後、ふれあいセンターに戻り、久しぶりでみでランチ会もできました。
8月20日(日) 区の行事に協力参加予定。
8月29日(火) 夜: 園から資源ごみ回収の予定です。
いつもご協力ありがとうございます。

京大生のメンバー



地下探査



八木町南地区データ
◇世帯数 1099世帯
◇人口 2,258名
◇高齢化率 35.8%

「八木町南地区大堰塾」の活動取り組み

八木町南地区は、八木駅や京都中部総合医療センター、八木支所、商店街を含む市街地集落と、JR嵯峨野線西側の農村部集落により形成され、八木町の南の玄関口に位置し、15の集落に現在約2,000人強の区民が共に生活をされています。令和4年から地域住民組織「南地区大堰塾」を立ち上げられ、地域住民の一体感につながる、「魅力あるまちづくり」を目指して活動をはじめられました。



第2回「クリスマス交流音楽祭」の様子



はるひBAND



コーラスさくら



クレージーモンキーズ



「八木村の歴史を知る」歴史勉強会の開催

八木西小学校に保管されていた資料を基に南丹市文化博物館の学芸員犬持さんが、江戸時代から明治時代の八木村の歴史を解説頂きました。江戸時代の山陰道は八木町の本町一丁目から3丁目、そして鉄道が開通し八木駅に向かって本町から八木駅までを栄町としたという事です。



犬持学芸員の講演

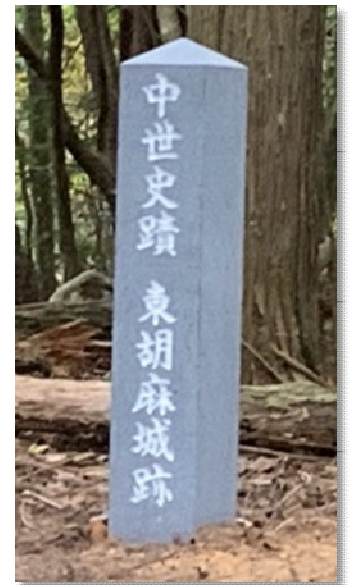
集落データ

- ◇世帯数 90世帯
- ◇人口 195名
- ◇高齢化率 46.7%
- ◇準限界集落

東胡麻区では、区内の小高い山にある中世に作られた東胡麻城を調査する勉強会を開催しました。築城はいつか？なぜ城が必要だったのか？明智光秀との関係は？など城郭研究家の高橋成計先生の説明に地域の方をはじめ30名の方が聞かれました。その後、東胡麻区の東の山にある東胡麻城跡を高橋先生と、堀切などの説明を受けながら登山しました。頂上には曲輪があり、そこからは東胡麻区が一望でき、また北には連携して集落を守っていたと思われる大戸城（塩貝城）を見通す事ができました。そこにみんなで石柱を立てました。



東胡麻城とその歴史講演会



27年ぶりに盆踊り復活



集落データ

- ◇世帯数 118世帯
- ◇人口 238名
- ◇高齢化率 46.6%
- ◇準限界集落

上胡麻区は平成26年度より南丹市誇りと絆事業に取り組み、1年目は「上胡麻の未来を語る」と題して、区民のヒヤリングを実施しました。ヒヤリングには小学生から高齢者まで多く参加され、「コンビニがほしい」とか様々な意見がでました。その中で交流人口（関係人口）を増やそうと会議所裏に「交流農縁」10区画を整備し、耕作者を募集、現在は近隣の方で耕作する方も増えました。

また、集落の若者男性に独身者が多いということで「かやぶき音楽堂」で婚活も行いました。また一昨年から福井県の大野に視察されシバザクラを会議所の斜面に植えられ、花一杯の上胡麻を目指されています。今年度は最終年ですが、府立大学の先生の指導で上胡麻の苦難「農業用水」の取組の歴史を若い人に残そうと編集作業中です。

交流農縁の開設



かやぶき音楽堂で婚活



上胡麻の未来を語る



上胡麻をシバザクラの里に



集落データ

- ◇世帯数 79世帯
- ◇人口 145名
- ◇高齢化率 56.6%
- ◇限界集落

佐々江区は平成28年より南丹市の「集落支援事業」に取り組みました。

- 1年目 ①再生計画作成
- 2年目 ②イラスト看板
③HP作成
- 3年目 ④ササユリの球根
- 4年目 ⑤ドローンによる
農作業実験
- ⑥ごはん会の開催
- その他 除夜の鐘ライトアップ
敬老祝賀会
村祭りグルメ市

みなかもん
**皆来者
プロジェクト**

① 再生計画作成



② イラスト看板



③ HP作成



敬老祝賀会

村祭りグルメ市



⑥ 皆来者食堂で「ごはん会・サロン」



あたご
山野草苑



集落データ

- ◇世帯数 28世帯
- ◇人口 52名
- ◇高齢化率 57.7%
- ◇限界集落

新シ区では集落のみんなが集う機会を少しでも増やすため、令和3年度から京都府の地域外ファン事業の助成を受けニンニク栽培に取り組んで来ました。

少子高齢化、一人暮らしの世帯も増え、閉じ籠りがちな住民を会議所に集う機会を増やし畑でも交流する機会を増やし健康にいい「にんにく」栽培を継続する事を目的に。にんにく料理教室や地域外の方の朗読会等を開催しました。

今後は、移住者受け入れ、関係人口の増加を目指して「新シ通信」を発行、区内の山城「亀田城を歩こう」もおこなわれて山城ファンも集いました！

「新シ通信」2023年春号



2019年から始まったにんにく作り。移住者や地域外からの参加者も増え、2024年は全て自家栽培の種を植えるまでになりました。。3月には恒例のにんにく料理教室とお話の会を開催、地域外からの交流人口の増加を進めています。
【京都府地域外ファン事業】



光恵さんのニンニク料理イベント

のんちゃんのお話会



日吉町 殿田区集落支援事業推進委員会

<令和5年~>

殿田区集落支援事業推進委員会は地域の維持、活性化を図る方策を検討し、取組目標として計画した事業を実施して行く団体として結成されました。

「殿田をもっと元気で楽しく！」をスローガンに次の九つのプロジェクトをつくり「地域再生事業」に取り組みました。

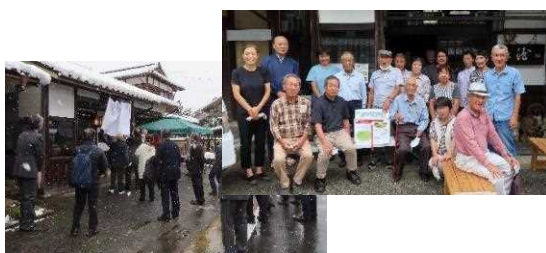
プロジェクトは次のとおり。

- ①居場所づくりプロジェクト
- ②お助けたい
- ③買い物サポート
- ④みんなのインターネット講習会
- ⑤知ってもらおう”殿田”
- ⑥殿田PRソフトプロジェクト
- ⑦殿田PRハードプロジェクト
- ⑧殿田みんなで美観プロジェクト
- ⑨咲かせようミツバツツジの花満開

それぞれのプロジェクトが計画した施策を着実に実施し地域の基盤として定着してきてます。

集落データ
 ◇世帯数 146世帯
 ◇人口 318名
 ◇高齢化率 44.6%
 ◇準限界集落

①居場所づくりプロジェクト



②お助けたい



③買い物サポート



④みんなのインターネット講習会



⑤知ってもらおう”殿田”



⑥殿田PRソフトプロジェクト



⑦殿田PRハードプロジェクト

⑧殿田みんなで美観プロジェクト



⑨咲かせようミツバツツジの花満開



日吉町 殿田の歴史を考える会

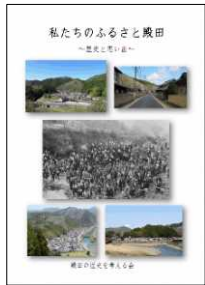
殿田の歴史を考える会は殿田の歴史や史跡を研究し、後世に残すことを目的として平成26年に殿田の有志が結成し活動しています。

殿田の歴史や史跡を知り知らせる冊子やパンフレットの作成、名所・史跡巡り、ワークショップや体験教室を開催し、地域住民とともに取組みを続けています。

冊子・パンフレットの作成

私たちのふるさと殿田

～歴史と思い出～



殿田の大火から八十年 1941.4.27を忘れない



殿田の小牧山観音堂 西国三十三ヶ所の観音像安置



日谷山新四國霊場 日ノ寺・四国八十八ヶ所霊場巡り



名所・史跡巡り

「私たちのふるさと殿田」 で巡る殿田の史蹟



殿田城跡をのぼる



日ノ谷四国八十八ヶ所霊場巡り 日谷山新四國霊場



小牧山観音堂と日吉神社巡り



大道法師の山を歩く



ワークショップ・体験教室

「殿田の大火の資料展示」と 切り絵ワークショップ



資料とお話で知る 「殿田の大火」・芸能体験



殿田の昔ばなしと芸能体験



「殿田の語りべ人形」・お披露目会！



日吉町 世木地域振興会

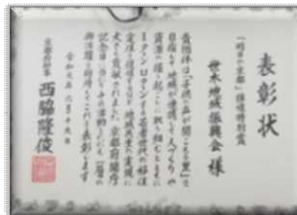
世木地域振興会は旧世木荘村で日吉ダムの建設で水没しなかった<殿田区、生畑区、木住区、中世木区>で構成されています。平成24年から京都府の「共に育む命の里事業」に取り組み、平成25年には総務省の地域活性化助成金を受け、田舎体験施設「とまり木」の整備、「集落の教科書」の作成、世木紹介ビデオの作成。以降も婚活は毎年実施しています。平成27年からは総務省の地域アドバイザー制度を利用して、地域紹介小誌「AtoZ」の作成にかかり、今年、各4地域の4部作が完成、提唱者の福知山公立大学の塩見准教授を招いて講演会を開催しました。また、この11月には南丹市在のジャズシンガー「MAKOTO」さんを招いて、ハッピーライフ・ハッピーライヴを開催、集まった方に「幸福度調査」を実施しました。現在は世木地域の100年後、10年後を見据えた、ビジョンづくりを進めています。また、今年、京都府西脇知事から「明日の京都」推進特別賞を受賞しました。



世木の恋活



空家お掃除応援団



「ハッピーライフ・ハッピーライヴ」



「AtoZ」4部作完成発表会



巡回お笑い寄席



集落データ

- ◇世帯数 27世帯
- ◇人口 49名
- ◇高齢化率 63.3%
- ◇限界集落



後野区では、10年前からサロン活動等を実施していましたが、令和元年から令和4年まで南丹市集落支援事業に取組み「花いっぱいの後野」住民で視察に行きました。

これから後野区の将来を見据え、元気な集落を目指すため、地域安全マップの作成、カレンダー制作等住民の家族、友人知人にも手渡す事が出来ました。



みんなのカレンダー

みんなで寄せ植え



わち山野草園視察



日吉町 生畑区

<事業年度 平成26年～令和元年 地域外ファン事業など>

集落データ

- ◇世帯数 58世帯
- ◇人口 120名
- ◇高齢化率 54.2%
- ◇準限界集落

生畑区では2014年から、区の魅力を再発見して連帯や誇りを育む事を目的に「ふるさと采発見・歩こう会」を開催するとともに、郷土史の編纂に着手、2020年に『ふる里生畑～暮らしの歩み 明日への道しるべ～』が今昔マップとともに発刊されました。生畑区は日吉町でも山深い少子高齢化が著しい辺地でありながら、盆踊りや運動会が開催されており、集落支援事業の取組を契機に、歩こう会等の活動が継続されています。

交流サロン「ようきはったカフェ」、「炭焼きグループ・里まる」、遊休農地の活用に取り組む「農業生産集団・楽生会」、草花の植栽等景観形成活動に取り組む「育友会」や「女性グループ・ささゆり会」、ファン事業に取り組む「ふるさと体験ネットワーク」等が活動する、人の豊かさと魅力を感じる集落です。

歩こう会



地域外ファン・運動会・盆踊り



育友会活動

ささゆり会活動



「ようきはったカフェ」の会、炭焼き里まる



日吉町 興風区

<事業年度 令和4年~>

集落データ

- ◇世帯数 107世帯
- ◇人口 228名
- ◇高齢化率 39.5%
- ◇準限界集落

「集落支援事業」取組経過とこれから

令和4年度 まちづくりアンケート(全戸対象)の実施
3か年の「事業計画(地域再生計画)」の策定

令和5~7年度 地域再生計画に基づいた<6つのプロジェクト事業>の展開

■6つの「プロジェクト事業」■

※以下の6つのプロジェクトを順次進めていく予定

- ①困りごと対策ボランティア(買い物困難者対策等)
- ②交流イベント(盆踊りの復活やカフェ運営等)
- ③地域歴史の探求(郷土歴史の掘起し等)
- ④定住促進(Iターン者との交流や空き家調査等)
- ⑤農産物販売(地元農産物等の販売)
- ⑥施設や土地の有効活用(有効活用への調査等)

■令和5年度の取組から■

盆踊り大会
(十数年ぶりに復活)



興風音楽の集い

(生バンド演奏で
カラオケも・・・)



よっといで市

(野菜市や
カフェ 等)



「地域歴史」の掘り起し



Iターン家族とのキャンプ交流

五ヶ荘の「住みよいむらづくり協議会」現在集落支援事業で8項目のプロジェクトに取り組んでいます。

- ①海老坂峠プロジェクト
- ②松茸復活プロジェクト
- ③山野草の里プロジェクト
- ④空家なんとかし隊
- ⑤わら・なうつなげる文化
- ⑥こんにゃくプロジェクト
- ⑦野草を知って生活に活かそう
- ⑧むかし・今・ずっとごはん

「むかし今ずっとごはんPJ」

朴葉ご飯作り(6月)



こんにゃく作り教室



わら・なうつなげる文化プロジェクト



海老坂峠プロジェクト始動



夏休み子供工作教室



玉岩地蔵物語の朗読会

殿田小交流



第1回五ヶ荘芸術散歩



世木の伝統芸能を守る会は世木地域に縁の深い能楽の梅若家等「地域の歴史を知り関係する伝統芸能を後世に伝えよう」と平成27年に殿田の有志で活動を始めました。

殿田小・中学校の生徒や地域住民を対象に地域の歴史の勉強会や狂言、三味線、お能、篠笛等の教室、各種イベントを開催しています。

また京都府や南丹市の補助金を活用して梅若家屋敷跡周辺の整備を行いました。

梅若会との連携も深まり令和5年開催の「丹波梅若能」公演に協力しました。

梅若家関連史跡看板設置



梅若家屋敷跡の整備



丹波梅若能・公演に協力



世木の歴史と伝統芸能を学ぶ (向田明弘・花柳双喜美氏)



お能(能面)教室 (渡辺龍山氏)



お能教室(殿田小学校・山崎美紗子氏)



お能教室(梅若長左衛門氏)



狂言教室(殿田中学校・島田洋海、山下守之氏)



夏休み・親子三味線教室 (花柳双喜美氏)



お能教室(山崎浩之氏)



笛吹神社・お能与篠笛のつどい (同志社大学能楽部・篠笛サークルささゆい)



美山町音海区

<事業年度 平成27年～令和元年>

集落データ

- ◇世帯数 8世帯
- ◇人口 11名
- ◇高齢化率 54.5%
- ◇限界集落

音海集落は丹波山地の最高峰長老ヶ岳の麓にあり、高齢化率も美山町の中では高い限界集落です。8世帯のうち5世帯までがターン世帯。昼間に居るのは4名。獣害も深刻です。そんな中、将来の集落維持の不安や、区民がどうすれば絆が深まり、誇りを持って暮らせる集落に出来るかを話し合ってきました。地域資源を活かして、地域外から多くの人を呼び込んでいくのも活性化につながるのと、区民もおもてなしをする事でお元気になって頂けると考えました。



音海公民館・桃李庵

長老ヶ岳ハイキングコースの新設事業



登山途中に突如出現する「かえる岩」。広大なかえで樹林の中に突き出た奇岩に参加者も大喜び！

平成27年から5年間を掛けて、音海集落から登る新たな登山コースを新設しました。

北桑田高校森林リサーチ科の生徒さんや、森林組合等の応援を頂き、登山道が完成。以降毎年、春と秋にハイキング会を実施し、近



実施し、近県や京都市内から多数参加されます。



労作業！



北桑田高校生が道標を付けてくれました。



北桑田高校生の皆さん、作業の後。



区民の手づくり看板が設置されました。



平成28年から4回の長老ヶ岳ハイキング会を実施。毎回楽しみに参加される音海ファンが着実に増えています。

移住者が増えました！(^^)

希少植物の保護と再生事業



音海区には自然の資源が豊富で、音海谷川の清流に舞うホタル、希少植物のベニバナヤマシャクヤク。春には可憐な花を咲かせ、秋には姿が一変します。また、ミヤマヤエムラサキの保護、再生にも取り組んでいます。



ミヤマヤエムラサキ ベニバナヤマシャクヤク

音楽事務所を主宰する若者2世帯が音海ファミリーに！



ステージトラックで南丹市活性化に頑張っています！

美山町 上平屋区

＜事業年度 平成30年～令和3年＞

集落データ

- ◇世帯数 61世帯
- ◇人口 136名
- ◇高齢化率 50.0%
- ◇限界集落

上平屋区は以前は公的機関も多く有して賑わいのある地域だったが、時代の変遷とともに、人口減少、少子化も進み、集落維持、農地保全も厳しくなっています。多くの集落課題はあるものの、地域福祉的な対応や、定住促進などにも力をいれていこう、協働して環境美化にも取り組もう、伝統文化の継承にも取り組んでいこうとの機運も盛り上がってきている所です。



「温故知新・上平屋バージョン」 シバザクラの里づくり



区民が総出でシバザクラの植栽を行いました。こどもから高齢者まで賑やかな事！今年度も更に広げて植栽をしました。



2019年4月26日京都新聞



高齢化で圃場の法面の草刈りも大きな負担となってきたことから、環境美化にも効果があるシバザクラの植栽をスタートさせました。面積も徐々に拡大をしていきます。2年間で2,200本の苗を植栽しました。

視察研修



2017年11月18日大野市へ視察研修 先進地域の取り組みに学ぶ。

集落懇談会



2017年7月29日多数の参加者で真剣な議論を交わす。



上平屋のシンボル・大銀杏が 上平屋集落を見守る

盆踊り大会クジ引き会



いつまでも賑やかな楽しい集落 存続を願います！

2018年、2019年と雨に見舞われ盆踊り大会が残念ながら中止。屋内でのクジ引き大会を行い大いに盛り上がりました。



盆踊りの音頭取り櫓の新調とお披露目を行いました。

美山町 河内谷区

〈事業年度 平成25年～平成30年〉

集落データ

- ◇世帯数 14世帯
- ◇人口 26名
- ◇高齢化 57.7%
- ◇限界集落

河内谷区は14戸26人が暮らす高齢化57%を越える限界集落ながら、区民が明るく元気な集落です。ここは西の鯖街道の要衝ルートで、京北弓削に続く古道のひとつです。海産物が都に運ばれ、伝統漬物などの食文化が継承されてきました。「にしん漬け」です。区民で商品化に向けての取り組みも行ってきました。(現在休止中)



伝統発酵漬物『にしん漬け』



冬の寒さが厳しいからこそじっくり熟成された格別のにしん漬けが出来上がります。

河内谷健康セミナー「元気で楽しく長生き！」

集落で明るく元気に暮らすには健康が第一！ 笑いと楽観的に暮らす秘訣を学びました。



清流河内谷川「ほたるの里」づくり

清流河内谷川は知井地域の水瓶として誇れる水質です。この清流沿いで見られる蛍は格別で、幻想の世界に引き込まれます。ほたる鑑賞テラスと看板も設置しました。



世代間交流



門坊寺跡の調査・発信

聖徳太子の頃の創建で桓武天皇の勅願所となり、最澄が堂宇を修復して丹波道場とした。立派な伽藍だったと言われている。その後明智光秀が周山城を築く際寺領没収、堂宇を壊し用材に充てたとされている。



下平屋区には国指定重要文化財の西乗寺と小林家住宅があり、集落の誇りでもあります。



集落データ

- ◇世帯数 40世帯
- ◇人口 74名
- ◇高齢化率 50.0%
- ◇限界集落

下平屋区でも農林業の衰退や空き家の増加などで活力が低下しています。こうした課題を解決するため、この支援事業を活用し、丹波栗を用いた地域活性を目指します。丹波栗を植栽し、栗を活かした商品の開発、獣害対策にも取り組んでいきます。



栗園の開園と栽培技術の向上

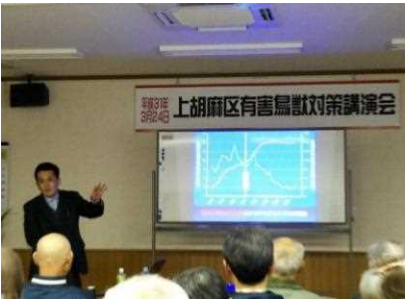
朝廷に献上されてきた丹波栗は千年以上の歴史を持ちます。その丹波栗を復興するため美味しい品種を栽培し、商品化も目指します。その為の視察研修も行います。



宮城県では、ナシなどの果樹で導入が始まったジョイント栽培法を学びました。

岐阜県中津川市の栗農家への視察研修。恵那市の和菓子店、ちこり村にも訪問しました。

獣害対策・獣害撃退器の研究開発



農山村の深刻な問題となっている獣害については、獣害軽減の一助とするため電子機器を活用した新しい対策に取り組みます。



丹波焼き栗の商品開発

無農薬で虫を駆除する氷蔵処理を活かし、丹波栗の焼き栗にも挑戦します。氷蔵によって精度が増した栗を独自の焼き方で美味しく仕上げ、新たなブランドにしたいと考えています。





岩江戸区には、美山町で2地区のみで継承されてきている八朔祭りが今も残されています。また戦国時代の山城跡の松山城跡や、室町時代初期のものと言われる「大般若経」600巻も継承されてきた集落です。これらの先人が残してくれた有形無形の財産を区民の誇りとして、学び、共有する事で集落活性に繋げていきたいと思っています。

集落データ

- ◇世帯数 44世帯
- ◇人口 74名
- ◇高齢化率 39.2%
- ◇準限界集落

八朔祭りの継承

「八朔踊」は、八朔(9月1日)の夜に、盆踊りと同様に丹波音頭で踊る岩江戸独自の伝統行事。時期はずれの八朔踊は珍しく、近在の集落から踊りに来るものもあったとか。(八朔は陰暦の8月1日の事で田の実りの節句)

現在は諸事情により、8月最終土曜日に実施しています。



音頭取り櫓も新調でき、→一層盛り上がっていきます。



集落資源がとても豊富な岩江戸区です！

松山城跡の調査・整備事業

松山城は最盛期には石高1万3千5百石あり、勢力は瑞穂町、滋賀県、美濃の国にも及んでいたとの事。城主松平石見守兵部は代々公家に仕えていた由緒ある家系の士で、應永3(1424)年の京都法皇殿炎上の際の功績をもって江州高島郡の領地加増され、その後松平が岩江戸に住んだとされています。通称「殿屋敷」と呼ばれる館があったのではないかとされています。



「伝承松山城址」の由来



ここが松山城があった場所です！

地元出身者の郷土歴史家・若江 昇氏の講座と案内で、松山城跡を見学しました。確かにここに砦があったのではと感じます。また、山城研究家の竹尾学氏(愛媛県在住)は非常に貴重な遺構であり、調査が進めば新たな発見があるのではないかとされています。



暫定文化財指定の「大般若経」保全と継承

大般若経の巻物600巻は「お教さん」と呼ばれる。高島郡の住民が年貢米に窮し、大般若教を代納したと伝えられ、奥書に応永9年(1402年)、識語等に享徳4年(1455年)、そして教櫃の蓋にも永享7年(1435年)の記載もあります。(現在南丹市文化資料館に保管されています)



松山城跡整備の記録冊子完成



美山町 洞区 <事業年度 平成26年～平成30年>

集落データ

- ◇世帯数 28世帯
- ◇人口 56名
- ◇高齢化率 58.9%
- ◇限界集落

洞は美山町最奥の地。ここには美山町でも屈指の豊かな地域資源に溢れ、磨けば輝く「宝の里」です。音谷の滝や明神滝、聖ヶ滝など、四十八滝があるとも言われます。しゃくなげの群生地なども誇れる資源です。洞峠からの清流 西川のほたる生息地や、松茸も自慢の集落です。鯖のなれ寿司や枳餅などの伝統食文化も後世に残していきたい洞集落の誇りです。



「音谷の滝」周辺整備と都市交流事業



水害で荒れた滝壺への新道の復旧や、安全対策のロープ設置、遊歩道の整備等を行い、「滝見学ツアー」を森の京都DMOと連携して実施しました。また、洞大滝の全貌が見渡せる様に立木の伐採なども行いました。他にも明神滝等の表示案内碑も作成し、滝見物ツアーとして誘致出来る体制づくりを行っています。



←京都新聞にも紹介して頂きました。



各滝の名称を刻んだ木製案内道標を設置

地域伝統食の特産品の継承と販路開拓



洞区で継承されてきた伝統食として、「鯖のなれ寿司」や、「枳餅」を特産品に育てて、販路開拓や、交流に繋げています。

ホタル観賞道の整備事業

由良川支流の西川はホタルの群生地。「ホタル街道」として木製チップを敷き詰め歩きやすく！

「洞志会」を中心に地域再生への取り組みを推進！



美山町 林区

< 事業年度 平成30年～令和3年度 >

集落データ

- ◇世帯数 14世帯
- ◇人口 33名
- ◇高齢化率 33.2%

林区を縦断する西の鯖街道(国道162号線)沿いは棚野川の清流とともに四季折々の美しい景観をおりなしており、春には30年前に林区で植樹した自慢の桜並木が観光客をお迎えます。

しかし、その大切にしている桜がてんぐ巢病にかかっていることがわかりました。そこで、まず、景観維持活動の第一歩として、桜のてんぐ巢病を皆で駆除することにしました。

今後は、安全・安心な暮らし維持のための整備、美くなった桜の並木のライトアップ、西の鯖街道で育まれてきた食文化の継承活動、花木の植樹などにも取り組み、林区の皆が一体となって地域の魅力と誇りを高め、将来にわたって元気な集落を存続させたいと意気込んでいます。



西の鯖街道
国道162号線と林区を上から望む

桜のてんぐ巢病駆除作業の様子



視察では鯖街道の史跡を訪ね、郷土史家を招き勉強会を開催しました。また、区内の休耕田に花木を植樹することも計画しているため水生植物園を訪ねお話を聞いてきました。

西の鯖街道の木簡



視察

「西の鯖街道」 由緒看板設置及び 石碑の設置



伝統食「ね寿司」の
試作にも挑戦！





松尾区の集落の課題として、営農の継続が望めない事、耕作放棄地が増加する事、後継者不足、空き家増加、獣害など多くありますが、少しずつでも活力につながる事を住民の「やる気」で進めています。

将来的に集落に利益が生まれる取り組みをしたと、実山椒の植栽を行ってきました。また交流拠点の「住民憩いの場」の東屋設置、桜の植樹などを行いました。

集落データ

◇世帯数	15世帯
◇人口	27名
◇高齢化率	40.7%
◇準限界集落	



実山椒の植栽と商品開発の事業



植樹した朝倉山椒の木が、雪害で枝が折れるなど、苦労もありましたが、補植も行い順調に育っています。防獣対策の防護柵設置も行い、成育を見守っています。



区民が総出して広場の整備を行いました！

東屋の設置と桜の植栽事業



地区住民の利用や、帰省の子供たちの交流の拠点になる東屋を設置し、その前の広場に桜(ソメイヨシノ)を植栽しました。また川向いには枝垂桜を植栽しました。昨年から花をつける様になりました。



東屋が完成しました！

憩いの場・東屋前広場の芝張り事業

完成した東屋で、記念の親睦会を行い、大いに盛り上がり、賑やかな集いが出来ました！芝張りの出来た広場で会話が弾みます。こんな集落の姿がいつまでも続く事を願います。



美山町 下吉田区 <事業年度 平成25年～平成30年>

集落データ

- ◇世帯数 20世帯
- ◇人口 34名
- ◇高齢化率 58.8%
- ◇限界集落

下吉田区は高齢化の進む限界集落です。入院や施設入所者も徐々に増えていき、外に出て行く機会も減ってきていました。安否確認や見守りの大切さを深刻に感じて、「ささえあいサロン」をスタートさせました。毎月様々な内容を工夫して、区民が集い合い、笑顔で語らい、お互い近況を確認する中で、集落に元気が出てきました。今後もこのサロン活動を軸にして、「元気でいつまでも住み続けたい下吉田」を目指します。



ささえあいサロンの開催



男の料理教室



男性が料理をして、女性を招き食事を共にする、これは好評で、毎回賑やかな会話が弾みます。

お笑い芸人を招き寄席を行ったり、人形劇グループさんに楽しませてもらったり…。その他、ヨガや、詐欺防止講座や、ミュージックセラピーなど毎月内容を工夫して開催してきました。



美山小学校の子ども達とも交流が出来、若返ったひと時でした。



ふれあい公園の整備と交流の東屋を設置

下吉田集落玄関口の公園を、皆さんで整備して、野外交流会が出来る東屋を設置するなど、景観も良くなりました。



盆踊り大会の復活！

公民館前の広場も拡張し、賑やかに盆踊り大会も復活しました。高齢者から子供まで、昔の様な光景に笑顔が弾けていました。



桜のお花見も出来る東屋です！



美山町 柜原区

<事業年度 平成29年～令和元年>

集落データ

- ◇世帯数 23世帯
- ◇人口 57名
- ◇高齢化率 54.4%
- ◇限界集落



柜の里 マスコットキャラクター
「とちっこ」

- ★柜の木・柜の実を生かす
 - ・柜の実を守る
 - ・柜もちづくり(柜もちを広める)
 - ・イベントでの販売&直売所

★みんなで楽しいこと

- ・グラウンドゴルフ大会(年2回)
- ・伝統行事(農上がり、地藏盆)

★情報発信

- ・通信の発行
- ・刊行物の発行



柜の花



柜の実

柜餅



柜の実拾い



柜原区では、以前から集落として、柜の実を大切にしてきた歴史と様々なことを助け合い(協働)しながら生活してきた伝統があります。このことを集落の強みとして取組を進めていこうと3年間事業を行ってきました。

柜の実拾いや柜もちづくりは、古くから女性が中心となって作業を行ってきました。しかし、高齢化や後継者育成の問題、生産加工の衛生面から、今日では集落全体の取組としています。

柜もちづくりは、9月の柜の実拾いから始まり、柜の実の乾燥(保存性)、柜へし、灰合わせ(灰汁抜き)、もちつきまで、大変長い時間・手間がかかります。集落みんなで協力し美味しい柜もちが完成します。

また、集落全体の関係性の良さを生かす取組として、グラウンドゴルフ大会を年間2回行い、老若男女が和気あいあいと有意義な時間を過ごしています。さらに、地域を知るために、集落の地名の不思議を学ぶ講座を地域の先輩から学び、自分たちの集落を自分たちの手で少しでも楽しいものになるよう今後も取組を進めます。

柜もち販売



グラウンドゴルフ大会



集落データ

- ◇世帯数 37世帯
- ◇人口 72名
- ◇高齢化率 48.6%



モリカワグループとの合同作業



笑輪プロジェクトを基本構想の軸とし、実りのある3年間の事業でした。環境庁選定の『生物多様保全上重要な里地里山』として全国500ヶ所の一つに選出されたことも、事業を進めていく上で大きな原動力となりました。山林の補植や作業道の開設、植樹記念のネームプレートの設置は、モデルフォレストの一環として京都の企業モリカワグループと共に作業を行うことで新たな交流が生まれ、都市住民とのふれ愛の輪ができました。女性が輝く地域づくりを目指すために女性の会「花水木の会」を結成、象徴とも言える花水木(ハナミズキ)の苗を有志の家庭に植樹することで絆をより深めました。

次世代を担う若者達間の交流は、なかなか思うように進みませんでしたが、事業最終年度には、区の恒例行事である江和祭が20周年を迎えるという良い機会に恵まれ、江和祭の企画立案と実施を若者達に全面的に任せることで交流と絆が深まり、若者らしい演出と共に美山の食材を使ったクレープ屋台が出展されるなど、記念すべき江和祭は例年以上に大変な盛り上がりを見せました。



20周年を迎えた江和祭

花水木

集落データ

- ◇世帯数 24世帯
- ◇人口 45名
- ◇高齢化率 46.7%
- ◇準限界集落



美山町の中でも一番奥地に位置し、他の地域からも離れていて、芦生の原生林の麓にある小さな集落です。ここには豊かな原始的な森林があるのと、貴重な文化が息づいています。

日本でも大変珍しい奇祭である「わさび祭り」、そして夏の風物詩「松上げ」が芦生の誇れる伝統文化です。

その他にも村の産業として、芦生なめこ生産組合(現(有)芦生の里)は集落の生活を支えています。

近年獣害がひどく、自生わさびも絶滅に瀕する状況です。「南丹市誇りと絆事業」を契機に、わさびの生産が村おこしとして進んでいます。また、夏の火伏せと豊作を祈って行われる「松上げ」も多くのファンが訪れる一大イベントです。



参加者がわさびのおひたしを戴きます！
美味しい！

昔、狩猟で生活していた先人は、動物たちの命を頂くので、私達も何かを我慢しなければいけないと考え、1月1日から4月までの間「わさび」を断つと決めました。そして4月10日に「わさび祭り」の神事を行い、この日からわさびを解禁にして食したという伝統文化が継承されてきました。この日の祭りは、集落の親睦を深め、絆を固めていく芦生にとって大事な行事になっています。

「わさび祭り」の継承

自生わさびの保護と再生事業



自生の希少なわさび！
獣害が危機的な事になっています！



区民でわさび田を作り、苗の植栽をしました！



「松上げ」の継承と交流事業

美山町で4地域で継承されている火祭りですが、ここ芦生では「松上げ」と呼んでいます。火の用心、五穀豊穡、家内安全、疾病退散を願って、約20mの灯呂木(とろぎ)に傘を付け、下から松明を投げ入れ、夜空を焦がすロマンある神事です。8月24日、この日は芦生の短い夏を惜しむ日となっています。



集落データ

- ◇世帯数 46世帯
- ◇人口 90名
- ◇高齢化率 43.3%
- ◇準限界集落

シニア大学校と児童の交流の中で、昭和初期の景観にふさわしい生物がいる集落づくりが事業の始まりでした。その後、集落の暮らしの再確認と後世への伝承、移住者を迎えるために役立つ『集落の教科書』を発行し、表札の役割をする各家ごとの木札である『屋号札』を復活しました。

集落は歴史的価値のある『かやぶきの里』として知られており、高齢者や子供などを含む観光客が多く訪れることから、集落内の危険な個所を総点検し、急な坂道や足元の悪い場所に手すりをつけ、休憩できるベンチを設置することで、心のこもったおもてなしのできる、より魅力的な集落になりました。



かやぶきの里



知井八幡宮 神輿

復活した屋号札



観光客に集落を案内する大きな役割を担うガイドグループは組織化をしました。新たなメンバーを加え育成し、ルートの見直しと決まった情報で一律に案内ができるようにと勉強会を開き、新たに『基礎知識マニュアル本』とサポートツールとして案内中に使用するカンペ付『写真パネル』を作成しました。



勉強会と基本知識マニュアル本



カンペ付写真パネルとガイド中の様子



美山町 和泉区

＜事業年度 令和2年～令和5年＞

集落データ

- ◇世帯数 95世帯
- ◇人口 211名
- ◇高齢化率 37.9%
- ◇準限界集落

地名の由来である『泉』の整備

令和2年度から集落支援事業を始めました。まずは、今の現状と今後の課題を話し合うことで集落の様々なことが見えてきました。

集落内には、地名の由来となった泉、街道の道しるべ、夜泣き地蔵、地蔵堂、武主神社、行者山など、集落と歴史を共にしてきた史跡がたくさんあります。

まず地名の由来となった泉とその周辺の整備、由緒看板の設置です。泉とその周辺は以前とは見違えるように美しく生まれ変わりました。

和泉区では、今回美しくなった泉をはじめ、和泉区内にある史跡を後世に伝えていくのと同時に住民の憩いの場となるように整備や清掃を行い、大切に守っていきたく考えています。



武主神社参道の手摺り設置



区民が出て作業を進めました。何でも出来る多彩な人がいる集落です。集落のシンボルスポットが見事甦りました。

AFTER



「夜泣き地蔵」由緒看板設置



→これは今後進めていきます！



集落街道筋の道標の移設(江戸時代の石碑)

集落データ

- ◇世帯数 27世帯
- ◇人口 57名
- ◇高齢化率 45.6%
- ◇準限界集落

美山町榎原区は、伝統ある文化財と田園風景を持つ古き良き集落です。大野ダムさくら祭り・もみじ祭りは多くの観光客で賑わいます。集落の鎮守様川上神社の「からす田楽」は京都府無形文化財第1号に、そして石田家住宅は我が国最古の農家住宅として国の重要文化財に指定されています。大原神社は飛鳥時代に建立され1300年の歴史を誇り、その御神木の大ケヤキは千年の樹齢で、京都自然200選に選ばれています。榎原区の有形無形の文化財を活用し、榎原を訪れる人を増やし、来訪者との交流を通じて住民が元気になるよう、また自然と身体に優しい農業の集落としての取り組みを行っています。



日本最古の北山型住宅

石田家住宅再整備事業



石田家住宅は江戸時代初期の慶安3年(1650年)に建てられたことが判明している日本最古の農家住宅です。北山型入母屋造りとよばれ、この様式の住宅として最も長い歴史と最も古い特徴を持つ貴重な文化財です。諸般の事情で公開を中断していましたが、南丹市の協力を得て環境整備を進め、平成30年4月から公開を再開しました。週末には多くの方が来られます。敷地内に東屋を設置し、住民と来訪者の交流の場として活用しています。



からす田楽の継承・

映像保存の取り組み



「からす田楽」は、住民の減少、高齢化が進む中、様々な工夫をおこない永年絶やすことなく奉納を続けてきています。毎年10月の体育の日に奉納します。

この貴重な伝統を多くの人に知ってもらうために、奉納の様子を映像として記録し広報活動に活用しています。

樹齢1000年の大ケヤキの木



伝統食「鯖の熟れ鮓」の継承



「からす田楽」は「鮓講」とも呼ばれ、かつては「からす田楽」の奉納に合わせて「鯖の熟れ鮓」を作りお供えをしてきました。集落の年配の方に教わり、技術が継承される様に挑戦です。

農業フォーラム開催



「これからの農と私たちの生活」をテーマに開催。平成27年7月26日

不動尊の滝祭り 継承と背景学習

毎年6月28日には不動尊の滝祭りが継承されてきました。区民で大切な歴史の舞台でもある史実を学びながら、今後も長く継承をしていきます。



戦国時代の越前・乗谷朝倉氏との関係があったのでは...

- 集落データ
- ◇世帯数 27世帯
 - ◇人口 59名
 - ◇高齢化率 55.9%
 - ◇限界集落

下区は西の鯖街道に位置し、伝統食文化が誇れます。また清流などの自然環境も誇りですが、更に戦国時代由来の伝統行事や、山城跡が発見されたりと、多彩な資源に恵まれている地域です。集落が一体となって、活性化の様々な取り組みを行ってきました。府や市等の交付金も活用して、区民が楽しく取り組みを進め、成果も出てきていると感じています。



伝統発酵食の継承

鯖のなれ寿司
鯖のへしこ にしん漬け



下村城跡の整備と由緒

看板の設置 下区に山城跡があった事が発見され、区民で整備を行いました。



西の鯖街道で育まれた鯖の伝統食品の技の継承、加工と商品づくりに取り組みました。「鯖のへしこ」は道の駅ふらつと美山で人気の商品に育っています。



炭焼き窯の再生

昔の集落産業であった炭焼き窯を再生し、若い家族や子供たちに体験してもらいました。



内閣総理大臣賞受賞！



令和4年度農水省「豊かなむらづくり全国表彰」で受賞！ 農林水産大臣表彰とのダブル受賞！



未来共育学園生との体験交流

稲刈り、稲木干し作業に歓声上がる！



我が集落の誇り 美山山村留学センター

開学25周年になり卒業生も180名を越えましたが、2023年に惜しまれて閉所となりました。



小滝整備事業

八ヶ峰岳山麓には3滝がありますが、そのうちの流麗な小滝への散策道の整備と小滝の景観保全、案内看板設置を行った。



私たちの暮らす知見区は、標高800mの八ヶ峰岳の麓の集落で、登山道整備や道標の設置、3滝のうち小滝の歩道整備や美化、等々多くの取り組みをしてきました。交流拠点の東屋設置は、区民の手で作り上げ、BBQやピザ窯まで作りました。折々でこの拠点で賑やかな交流が行われています。高齢者が元気で、そして笑顔で、仲良く暮らす自慢の集落です。

集落データ

- ◇世帯数 23世帯
- ◇人口 38名
- ◇高齢化率 57.9%
- ◇限界集落

八ヶ峰岳整備

ふるさとボランティアの皆さんの応援を頂き、小滝までの遊歩道整備や、案内看板の設置など、大変お世話になり、きれいに整備が出来ました。



八ヶ峰岳の山頂。若狭の海が展望出来ます。高山植物も迎えてくれます。

東屋の設置事業

知見区には様々な技術を持った方々が居るため、東屋の建築もあっという間に建ちあがっていきます。BBQコンロや、ピザ窯も素人の造りとは思えない程です。



ワークキャンプのメンバーとも交流！



盆踊りの復活

賑やかな集い！

八ヶ峰荘にてグランドゴルフ大会も毎年恒例で、楽しく実施しています。

盆踊りの復活をしよう、と新たに音頭取り櫓も新調をして、今年も元気に開催が出来ました。隣の集落下区と、美山山村留学センターのこども達も加わって明るい声が響きます。

音頭取りさんも気合いが入ります！



美山町 向山区

＜事業年度 平成30年～令和3年＞

集落データ

- ◇世帯数 21世帯
- ◇人口 40名
- ◇高齢化率 50.0%
- ◇限界集落

向山区では由良川河川敷地を活用して、ゆずの栽培を17年前から取り組んできました。2015年から品質の良いゆずの実が実ってくるようになり、実の販売や新商品の開発などを進めています。「ゆずの里 向山」のブランド化を今後も展開し、元気な集落を目指します。また農産品の6次化にも今後取り組みをしていきます。



「ゆずの里 美山向山」発信事業



集落のシンボルツリー・ポプラが四季それぞれに美しい！



たわわに実を付けたゆずの収穫も集落の楽しみのひとつ。加工所では選別作業やパック詰めが行われます。

湖池屋ポテトチップスにも使われています！



風情のあるお堂も向山の誇りです。ここも区民が集い交流する大切な場所です。

交流事業

＜関西シクロクロス大会＞



シクロクロスは、もともとロードレース選手のオフレーニングの一環として始まった、秋冬がシーズンのオフロード自転車競技です。様々なライダーが続々とシクロクロスに挑戦し、人気と競技レベルの向上に拍車をかけ、愛好者も年々増加してきています。向山での大会は2015年から開催されてきました。集落としても応援をしています。



向山公園・パターゴルフ場管理運営

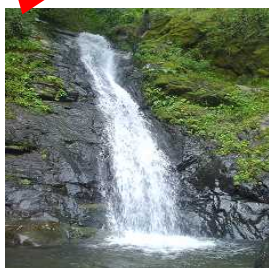
向山集落には由良川の河川敷が広がっていますが、大野ダム公園として整備された際に、パターゴルフ場も整備されました。ここを集落で委託管理をしており、多くのゲームが行われていますがそれらのサポートも行っています。



向山区動画 QRコード



向山は色々な顔を持った魅力のある集落です！



まぼろしの滝

この滝は年中見ることが出来ません。ダム管理事務所が貯水量を調整しているからです。6月ごろから10月ごろまでは水位が低く姿を現わします！



インスタグラムでも積極的に集落情報を発信をしています！覗いてみてください。ホームページも開設しました。



美山町 熊壁区

<事業年度 平成25年～平成27年>



集落データ	
◇世帯数	11世帯
◇人口	16名
◇高齢化率	56.3%
◇限界集落	

熊壁区は高齢化が進む小さな集落ですが、区民が楽しみながら小さなビジネスを起こし共同作業の中で緩やかなコミュニケーションを築く場として、「熊壁 楽しむ農場」を立ち上げました。そこから集落の活性化事業をスタートしました。区内外の多くのボランティアの方々とも交流し、賑わいも出てきました。



京都美山「熊壁 楽しむ農場」



区民で意見を出し合い、耕作放棄地の活用や、小さなビジネスに繋げるには何をしたいのか、と協議を重ねました。行きついたのは、健康志向の高まりの中で注目を浴びている「黒にんにく」を私たちの手で育て製品化しようとの事になりました。



京都府のボランティア「食の応援隊」の派遣をして頂き、にんにくの植え付けや、雑草取り、収穫などの作業をして頂き、賑やかに交流も出来ました。都会の子供さんたちも大変喜んで作業をしてくれました。

京都府「おいしい食の応援隊」の派遣



集落の住民が喜んで作業をされ、目標が出来た事で元気になられたと思います。

道の駅「ふらつと美山」さんや、「大野屋」さん、「たなせん」さんで好評を得ています！

「黒にんにく」の栽培・加工の研究と商品化に挑戦



区民で作業をしています。ワイワイと賑やかな楽しい時間です。

にんにくを熟成させる事で、ポリフェノールやアミノ酸の含有量がアップし、様々な効能が期待出来るかとされています。

疲労回復や、がん予防効果、高血圧の予防効果などがあるとされていて、人気があります。集落の新ブランドに育てていきます！

美山町 殿区

<事業年度 平成26年～平成27年>

集落データ

- ◇世帯数 34世帯
- ◇人口 67名
- ◇高齢化率 53.7%
- ◇限界集落

鶴ヶ岡地域の中心部にあって、様々な文化的資源が豊富な集落です。水上勉が絶賛した樹齢250年以上にもなる法名寺桜。その山上には殿城址があります。また夏の風物詩 上げ松も長く継承されてきた誇れる伝統行事です。



いつまでも残していきたいです！

法名寺桜の保護・再生事業



法名寺桜は、桜守で高名な15代佐野藤右衛門氏が命名したとされ、その子息の著名な造園家の第16代佐野藤右衛門氏に調査と手入れの指導を頂く。

この法名寺桜は、大阪の造幣局通り抜けに、株を接ぎ木して育成した事でも知られている。毎年「法名寺さくらまつり」を行っています。



▲佐野藤右衛門氏による法名寺桜の調査と、保護の指導を頂く。



▲集落あげて桜まつりで盛り上がります！



▲法名寺の参道に設置した由緒看板。

伝統行事「上げ松」の継承と発信事業

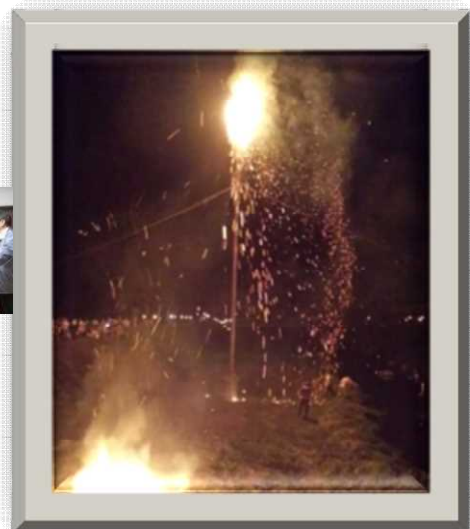
豊作や、火伏を願って古くからおこなわれてきた盂蘭盆の伝統行事「上げ松」を次世代にもしっかりと継承し、観光事業としても発信しています。

この時に笛と太鼓で奏でる音頭も心地よいリズムで、なくてはならないものです。練習も継続して行っています。



▲燈籠木を立ち上げる作業。区民が総出で行います。

▲燈籠木が立ち上がり、夜の上げ松ショータイムを待つばかり！



夜空を焦がして燃える松明。区民や出身者、観光客も見守る中、点火すると歓声が上がります。舞う火の粉と、色を変える炎に酔いしれます。ショーが終わると初秋の訪れです。

美山町 神谷区 <事業年度 平成30年～令和3年>

集落データ

- ◇世帯数 12世帯
- ◇人口 18名
- ◇高齢化率 100.0%
- ◇限界集落

神谷区のシンボル
美しく生まれ変わった水車小屋



神谷区は平成26年から『草刈ボランティア』『雪かきボランティア』を通して、都市住民との交流や作業が行われています。住民とボランティアで滞在型の交流と活動が協働でできるように、設備を整え拠点づくりもしました。

また、水源の山でもある「地蔵杉」の山までのトレッキングコースの整備も行いました。神谷区のシンボルでもある水車小屋の大修理は平成29年に住民の手によって行われ美しく生まれ変わり、昔と変わらぬ素敵な響きを奏でています。

『神谷ふるさと雪まつり』は平成25年から続く子供達に大人気のメインイベントです。最近では、雪まつり近くになると降雪が心配されますが、当日は一面の銀世界の中、大きな雪だるまが迎えてくれます。



神谷ふるさと雪まつり



令和5年には第10回を数えた神谷雪まつり！ 都市部から多くの家族が参加され、寒さも忘れ賑やかな声が響きます。



大きな雪だるま
（ハハ）



草刈りボランティアの作業



秋の収穫体験

秋には黄金に実った稲を、手刈りして、稲木に干す貴重な体験に、参加者は夢中になって挑戦しました！ 農家さんの苦労も体感。



美山町 舟津区 <事業年度 平成30年～令和3年>

集落データ

- ◇世帯数 12世帯
- ◇人口 25名
- ◇高齢化率 56.0%
- ◇限界集落

高齢化や山林業が衰退する中、集落内の山の手入れや環境整備などが課題です。13年前には集落の入口に水車小屋を設置したが、あまり活用がされていなかったため、その活用と京都府水車サミットの開催などを行っています。



舟津区が「45歳からの情報誌」S.K.Y.で紹介されました。

水車整備とカフェの開設



舟津区の玄関口の水車小屋を活用して、地域の交流拠点として「水車カフェ」を開業します。台風被害で破損した水車も修復をする予定をしています。テーブルや、椅子のリニューアルと、備品も揃えて、多くの地域の方々の憩いの場にしていきます。

大きな窓からは棚野川支流の清流と、田園風景が一望でき、リラックス出来ます。



地域外交流拠点としても活用



地域外のご家族が体験交流で賑やかに！

南丹市農業委員会と共催し、稲刈りと稲木干し体験。鮎の塩焼きや、ピザでおもてなし！水車米の美味しいごはんも大好評でした！



水車サミットの開催



第14回雲原、で開催の水車サミット様子とご案内チラシ



京都府下6ヶ所の水車の集落と交流を行う「水車サミット」は、回を重ねてきています。舟津区もホスト集落として、第11回の水車サミット開催予定がコロナ下で中止となり、2023年は福知山市雲原集落で開催。多くの方々と交流を府深める事が出来ました。

今後も交流を続け、地域外のファンづくりと、集落の絆を深める取り組みを継続していきます。



美山町 今宮区

<事業年度 平成30年～令和3年>

集落データ

- ◇世帯数 9世帯
- ◇人口 18名
- ◇高齢化率 44.4%
- ◇準限界集落

今宮区は9世帯しかない限界集落です。集落のもともとの一番の悩みは今後の農地管理でした。将来の見通しはない…しかし、ある時、「今宮城をささやかな観光資源として生かせないのか？」と提案、今宮城への失われた散策道の整備と設置をし、津向山三角点をルートに入れた『歴史ハイキング周遊コース』を開設しました。また、以前は区に群生していたササユリも絶滅危機となっていたため、もともとの群生地を保護し増殖を成功させ、たくさんの花を咲かせることができ、ササユリ苑を開園できるまでになりました。

ピンク色のササユリ



『ササユリ苑』看板



『そら石』看板

『今宮ササユリ苑』OPEN

★開設日 6月1～2日(土日)
(開花時期が遅れば8、9日に変更)

★開設時間 9～16時

★場所 美山町高野
今宮地内
R162今宮バス停に案内表示

120本純白の妖精が

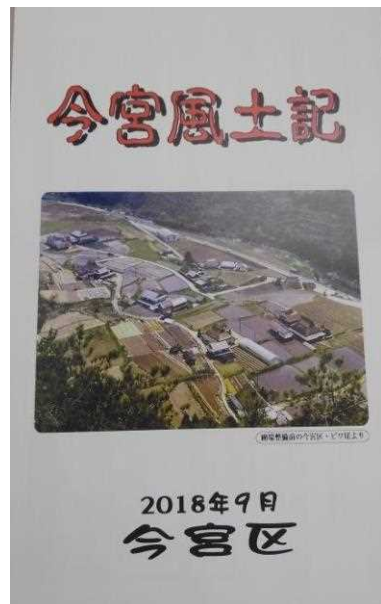
「ささゆり」は雑食性で絶滅の危機に7センチの花約1000㎡に120本の自生を確認。他に山野草13・樹木25種類も確認。

今宮区 ご連絡先090-7357-6869 山崎

ササユリ苑チラシ



国道162号線に設置されている大看板



今宮風土記

歴史資料冊子『川勝光昭と今宮城』に続き、集落の風土記をまとめた『今宮風土記』を発行。今宮区出身者にお送りし「ふるさと納税」をお願いしたところ、多額の寄付を頂くことになりました。

集落データ

- ◇世帯数 51世帯
- ◇人口 112名
- ◇高齢化率 55.4%
- ◇限界集落

長谷区は女性の声を大事にし、区民交流を進める中で一緒になって区の将来を考える機会を増やしたいと交流活動を実施しています。今現在、住んでいる区民が地域に『誇り』を持って住み続けることが出来るように、また、毎日の安全・安心・健康と明るい集落づくりを目指すためにも、草刈りや清掃などの日々の環境美化に努め、美しい農村景観を維持するよう努力しています。さらには、長谷区の出身者に帰省してもらえる機会が増えるように、桜の季節には『区民大花見会』、ゴールデンウィークの頃には鯉のぼりをあげ、お正月には『ふるさと新年会』を開催して、懐かしい風景や郷土料理を堪能できる集まりになるよう、皆で迎え、もてなします。

今後は、映像と文字で長谷区の全てを後世に残したいという思いを実現させます。そして、それを機会に出身者がUターン定住に結びつくことがあればと期待をしつつ、さらに活動の幅を増やしていく思いでいます。



交流会の様子



長谷区の良い風景

長谷集落の春の風物詩となった鯉のぼりが各家々で泳ぎます



集落紹介のパンフレット完成！



美山町 佐々里区 <事業年度 平成25年～平成30年>

集落データ

- ◇世帯数 12世帯
- ◇人口 15名
- ◇高齢化率 60.0%
- ◇限界集落

佐々里集落は美山町の東の最奥にあり、佐々里峠を越えるとそこは京都市左京区の広河原に繋がる。独自の文化があり、豊かな自然環境に恵まれた集落です。高齢化率は南丹市でも最上位になり、集落課題も多いが、区民は仲良く明るく、地域外の方々との交流も楽しみながら暮らしています。

佐々里峠を、「桜街道」にする取り組みや、「八つ頭の大鹿退治伝説の里」継承の取り組みの他、「囲垣祭り」という稀有な行事の継承、そしてブータン王国留学生との交流、約25年ぶりの復活が出来た盆踊り「ヤッサコサイ音頭」の文化継承にも取り組んできました。過疎や高齢化など乗り越えながら元気な集落を更に目指しています。



大自然は佐々里の誇りです！

美山町の東側に位置する佐々里区には、「布(ぬの)滝(たき)」と呼ばれる滝があります。この滝はまるで白い反物(布)が垂れたように美しく、同じ幅で流れていることから、そう呼ばれています。また、京北弓削町の境には伏条台杉の巨木もあり、圧倒的な存在感に魅了されます。

「八つ頭の大鹿退治伝説の里」

この地域には八つ頭の鹿退治に関する「八つ頭の大鹿伝説」が伝わっています。この大鹿退治に関連するスポットが多く残されており、地域住民の手により、それらをハイキングコースと共に紹介するガイドマップが作成されています。



「囲垣祭り」の継承

囲垣講は「八丁山の帰属をめぐる争論」で、佐々里の若者が弓削側に勝ったのが起源と言われている。村民が講中になって、満15歳になった若者の元服を祝う儀式と祭り、今もその形を伝えている。元服を記念して木札に名前を書き、立てかけた「囲垣」を今も残している。



ブータン王国・青年との交流

知井振興会と連携し、京都大学ゼミの研修生との交流を続けてきました。



盆踊りの復活

25年ぶりに盆踊りが復活！ この佐々里では、京都市広河原から伝わったと言われる「ヤッサコサイ音頭」。珍しい音頭で盛り上がりました！



集落データ

- ◇世帯数 68世帯
- ◇人口 95名
- ◇高齢化率 44.2%
- ◇準限界集落



島区は美山町の中心地域にあり、美山支所、森林組合、宮島郵便局、美山小学校などがあります。そんな中で少子高齢化や活力の低下など課題は多くあります。また失われつつある地域の伝統や環境を見直していこうと、活性化事業に取り組んできました。「なれ寿司講習会」、「ホテルマップの作成」、新装に成った公民館を活用した「開かれた公民館づくり」、そして「米粉を使った集落活性化事業」などに取り組んできました。

伝統軸組工法の島区公民館が完成！
伝統土壁や伝統ベンガラ柱採用などの自慢の拠点です。



米粉を使った集落活性化事業



島区の女性パワーを結集し、活性化の原動力にしようと、議論を重ね、研究してきました。平成26年に導入した「米粉製造機」を稼働させて、加工商品の試作品作りから始まりました。公民館で、サロンを行い、米粉の試作料理を試食して頂いたり、意見を交換し合ったりする中で、交流が深まってきました。



お好み焼き、かき揚げ、うどん、ワッフル、クレープ、パンなど様々試作品が出来ました！
活発なアイデアがどんどん出される様になり、さあ！
美山ふるさとまつりに出品を！！



「よもぎ餡子ワッフル」
「美山のめぐみワッフル」
など、個性的な商品の開発が出来ました！
今後、麺類の開発なども進めたい！



**美山ふるさと祭りに
出店・販売！**



島夏祭りでも好評！
賑わいに花を添えました！



美山町 内久保区

〈事業年度 令和4年～ 南丹市集落支援事業〉

集落データ

- ◇世帯数 50世帯
- ◇人口 96名
- ◇高齢化率 39.6%
- ◇準限界集落

内久保区は美山町の中でもいち早く水車小屋を設置し、集落のシンボルとして親しまれてきました。

各農家さんの米の精米を、水車と石臼の力でいき、好評でしたが、老朽化で破損したまま長年経過しました。

この間、高齢化や活力が低下するなどの課題がありました。そこで、集落で何度も話し合ってきた。南丹市集落支援事業を活用して取り組みをスタートさせました。水車小屋を再建し、ここからにぎわいと絆を深める交流拠点として再構築を目指しています。

水車マルシェや、美山サイクルグリーンツアーのエイドステーションとしても、住民あげての取り組みに、活性化の芽生えを感じています。



復活!! 内久保・しあわせ広場
水車 オープニングイベント
 2023年 7月1日(土) 11:00 OPEN
 水車米 (羽釜炊きごはん)のふるまい有ります
 11:00~ 水車精米実演
 11:30~ ミニコンサート
 出演 あぜみち
 炭火焼き 地鶏汁 ほうば飯 水車米 水車米 水車米

内久保・しあわせ広場 「水車」オープニングイベント 開催! 2023 7・1開催



当日は地域内外から多くの方が来場され、羽釜炊き水車米をはじめ、名物の大鍋地鶏汁や、美山川天然鮎の炭火塩焼き等に舌鼓を打ちながら、「あぜみち」さんの演奏を楽しまれました。

「水車新米まつり」「美山サイクルグリーンツアー・エイドステーション」イベント開催!

第10回 2023・10・22開催

No.4 内久保水車通信
 2023年6月号 / 発行：内久保水車委員会
 本町では毎月町民の生活に役立つ情報を提供しています。今回は、水車米の精米実演や、美山サイクルグリーンツアーのエイドステーションの紹介など、地域の活動やイベントに関する情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

水車の精米はとても興味があった様です!



美山町豊郷地域の高齢者に対して、高齢者が長年にわたり培った技術を活かし、蚕の飼育に必要な桑の木の栽培をはじめとした環境を保全する事業を行う。
この活動を通じて高齢者等の元気づくりに資すると共に地域集落の活性化に寄与する。

NPO法人京都桑田村法人格取得の経過

平成27年9月11日に京都府に申請
平成28年2月12日 京都府認証
平成28年2月18日 京都法務局登記



京都桑田村の主な活動

- ① 保健、医療又は福祉の増進を図る
- ② 社会教育の推進を図る
- ③ 町づくりの推進を図る
- ④ 農林漁村、中山間地域の振興を図る
- ⑤ 環境の保全を図る
- ⑥ 子供達の健全育成を図る

(NPO法人京都桑田村 定款より)



たかつかさ保育園来村 夏合宿・交流



記念植樹

「日本きものシステム協同組合」来村



お米洗ってね!



昔遊び冊子が完成

地域の高齢者が都市部の方と交流する機会は少なく、まして幼児などの孫世代と楽しい会話を交わす機会は本当に楽しいものです！ 身に付けた昔の技が披露できるのも高齢者にとっては大きな喜びになっています。



大谷大学訪問

昔遊びで学生と交流

保育園児と高齢者との交流の中で「昔遊び」がまとめ冊子に！

昔はこんな遊びをしていたわ！ 懐かしい！



発行 2024・2月 第2版（第1版2020・2月）

・南丹市地域振興課 TEL. 0771-68-0019

・集落支援員室 南丹市日吉支所 TEL. 0771-68-0108

編集

・集落支援員/藤井照雄・浅田徹雄・下澤 博・山竹継男

